

ボランティアグループの紹介

「ニュークレイン」

私たちの夢は「生涯 現役！」…手話&ステップ「ニュークレイン」は、自分達の健康づくりと生涯学習の一環として手話ダンスを学んでいるグループです。曲に合わせてステップを踏みながら、詞の世界を「手話」でより美しく、より深く、そして暖かさを表現する、それが手話ダンスです。

この活動を始めたのは、手話を学んでみたいと思っていたころ、友人から手話ダンスの話を聞き、興味津々で一度見学に行った時にお会いした松村先生の手話表現の美しさと人柄に一度で魅了されてしまったからです。何とか都留市で始めたいと思い、早速知り合いに呼びかけ、平成七年四月に会を発足しました。現在は、会員二十一名で毎月二回、第一と第三火曜日の午後一時から、禾生地域コミュニティセンターで練習しています。練習に加え毎回手づくりのお茶菓子でお茶を飲みながら、作り方を教わったり情報交換したりするひと時も大変有意義で、この会の輪と継続の秘訣にもなっています。

始めてから五年間は、練習の積み重ねに徹し、いろいろなイベントへの参加要請があっても辞退してきました。その理由は、一人ひとり価値観も多様で個性も豊かなので、まずはお互いに受容し合い、そして、どんな時でも誰が欠けてもグループとして役割を果たせるように各自が自信をつける事、またいつ手話ダンスをしても、初めて手話ダンスに出会った人達に受け入れられるよう資質を高める事が大切だと思っただけです。このような経過を経て、四年前からボランティア活動の一環として市内で開催されるドリウムまつりに参加し、昨年から都留市ボランティアまつりにも参加しています。

また、今年九月二十一日(土)・二十二日(日)の両日、山梨県で開催される全国ボランティアフェスティバルの一日目の夕方から、ハイランドリゾートで開催される交流会のアトラクションで、手話ダンスを披露することになりました。当日に向けてますます練習に身が入ります。

手話ダンスは、手話は初めてという方でも歌いながら踊りながら自然に楽しく覚えることが出来ますので、どなたでも参加できます。関心のある方は、お気軽にご連絡ください。

問合せ先 代表 矢野弓子 ☎(45) 1455

都留市社会福祉協議会 ☎(46) 5115



ボランティアまつりで軽快なステップと手話を披露するメンバー

国保ガイド

入院時の食事代について

病気やケガで入院したときの食事代については、診療にかかる費用とは別に、下表のとおり定額負担となります。

市民税非課税世帯などの方は、「標準負担額減額認定証」を病院の窓口で提示することにより減額されます。「標準負担額減額認定証」は、市役所の国保医療担当の窓口で申請により受けられますので、該当と思われる方は、「印鑑」・「保険証」(老人保健の方は「老人医療受給者証」も一緒に)を持参のうえ、市民生活課国保医療担当へ申請してください。

また、現在受けている方で引き続き必要な方も必ず申請をしてください。

問合せ先 市民生活課 国保医療担当

一般加入者		1日	780円
市民税非課税世帯	過去12カ月の入院日数	90日までの入院	1日 650円
		90日を超える入院	1日 500円
高齢福祉年金を受けている人		1日	300円



城下町奉行だより

「ストーカー対策」の推進について

特定の相手にしつこくつきまとうなどのストーカー行為を防止するための「ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)」が施行され、一年以上が経過しました。

県警には昨年一年間で九十件のストーカー関連の相談が寄せられ、行為別では「つきまとい・待ち伏せ・押しかけ」が三十六件、「無言電話・連続した電話」などが三十件、「面会・交際の要求」が十七件の順となっています。

県警では、こうしたストーカーによる被害を防止するため、ポスターやチラシなどによる啓発のほか、各警察署の「警察安全相談所」などで相談に応じています。

また、これまでに悪質なストーカー行為を行っていたものには、ストーカー行為罪のほか、脅迫、器物破損罪などを適用して検挙措置を講じ、ストーカー事案を解消しています。ストーカー行為の特性は、「執拗に繰り返される」という点と「エスカレートする」という点にあり、初期の段階において迅速、的確な対応をすることにより被害も不安も最小限に食い止めることが可能です。

警察では、個人のプライバシーは絶対に守りますので、ひとりでも悩まず気軽に相談してください。